



# たんぽぽぐみだより



2026年6月1日 発行  
ひらお保育園 たんぽぽ組

保育園の近くでもあじさいの花が蕾をつけはじめ、梅雨の到来を感じさせる季節となりました。たんぽぽ組では、先月から新しいグループでの活動が始まりました。毎日同じクラスでの生活となり、お友だちや保育者を覚えて、遊びに誘ったり、お友だちの名前で呼んだりする姿が見られるようになりました。先日、園庭遊び中に水分補給でお茶休憩をしていると、自分のクラスの保育者がお茶を出すと自然に集まってくる子どもたちの様子を見て、しっかり自分のグループを理解し『自分の居場所』として認識しているのだと感じました。まずは、新しい環境に慣れることから始めた春を過ぎ、今後は安心できる大人や友達と一緒に興味をもって季節の遊びを楽しむことや少しずつ身の回りのことを大人と一緒にやってみる事を目標に生活していきたいと思います。



## 園庭遊びの様子

園庭に出ようと声を掛けると、一目散にデッキへ出て戸外を楽しむ子どもたち。築山では、大人と一緒に滑ったり、頂上から「お～い」と呼びかけて手を振るなど楽しんでいきます。先月、カメが冬眠から目覚め、カメも子どもたちの大人気スポットとなっています。カメが動くたびに子ども達から歓声が上がり、ひらお保育園のアイドル的存在です。お砂場では、カップに砂を入れてひっくり返すとアイスやケーキなどが出来上がり、大人が「ハッピーバースデー♪」を歌うと、すぐにお誕生日会が始まります。お友だちの名前を順番に呼ぶとニコリ嬉しそうな表情です。低月齢の子ども、そんな姿を見つめたり、砂を握りしめて感触を確かめたり、スコップで砂をすくってみたり、それぞれの楽しみ方をしています。

梅雨に近づき、雨の日や暑い日も出てくるので今のうちに思い切り園庭遊びを楽しめたら…と思います。



- ・園生活に慣れ行動範囲が広がる。
- ・水遊びや感触遊びに親しむ。

先月は一気に気温が上がり暑い日が多くありました。そんな日は、園庭で涼しく過ごせるよう水をまいたり、テントの下で遊ぶ、こまめに水分補給を行うなど熱中症対策をしてきました。今月から、水遊びが始まります。熱中症警戒アラートを使いながら、安全に戸外遊びや水遊びができるよう活動を計画していきます。熱中症は、こまめな水分補給も大切ですが、朝ごはんを食べていなかったり、寝不足などでも発症しやすいと言われています。お子さんの様子がいつもと違う時や、体調がすぐれない時は無理せず休養をお願いします。何か気になることがありましたら、担任までお声掛けください。



1日 身体測定  
5・24日 避難訓練  
25日～ 水遊び開始

## 写真販売について

今年度、年4回(6月・9月・11月・3月)写真販売を行う予定です。乳児は、普段の様子での販売になります。その都度、掲示などでお知らせいたします。